

獨楽会

Himeji Dokkyo University Alumni Magazine

姫路獨協大学同窓会報

2009.8.1 Vol.24

姫路獨協大学同窓会事務局 / 〒670-8524 姫路市上大野7-2-1 TEL & FAX.079-223-9263

URL <http://www.hdud.gr.jp> E-mail honbu@hdud.gr.jp

同窓会（獨楽会）総会と懇親会のご案内

第13回同窓会総会を志湧祭の日程に合わせて、10月18日（日）に開催いたします。総会終了後には、恒例の懇親会も予定しておりますので、是非ご参加下さい。

出欠のお返事は同封のハガキまたはEメール、FAXにて、10月7日（水）まで（必着）に事務局までお寄せ下さい。

- 日時 平成21年10月18日（日）
・総会／11時～
・懇親会／12時～
- 会場 姫路獨協大学本部棟西館 5階 第1会議室
（正面玄関向かって左の建物）
- 議題 第12期事業報告および決算
第13期事業報告および予算 他
- 参加費 無料

ごあいさつ 同窓会副会長 森原 紳太郎（法律学科／平成3年卒）



時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、同窓会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、母校の状況について、公表しております母校の決算資料（平成15～20年度）をもとにご説明いたします。

まずは、母校の収入についてですが、大学の収入の大半を占める①学生生徒納付金は、平成20年度が15年度に比べ少なくなっています。④在学者数で、定員が15年度の3570人に対して20年度は4000人に増員しているにもかかわらず、定員充足率が悪化して①のような結果となっております。ただし、新学部と学科が全学年揃っていないのも一因です。では、なぜ定員割れが起こったかの外的要因ですが、全国の大学設置数を見ると、15年に526校だった私学が20年には589校にまで大幅に増えています。それに対して、全国の大学在学者数と兵庫県内の在学者数は僅かしか増えていません。そのことは、大学間で大学進学希望者の激しい争奪戦が起こっている事と、大学進学希望者にとっては大学を選択しやすい買手市場になっている事が容易に想像できます。

次に母校の支出状況ですが、法科大学院と医療保健学部、薬学部の新設等により⑤姫路獨協大学教職員数の専任教員が倍近く増

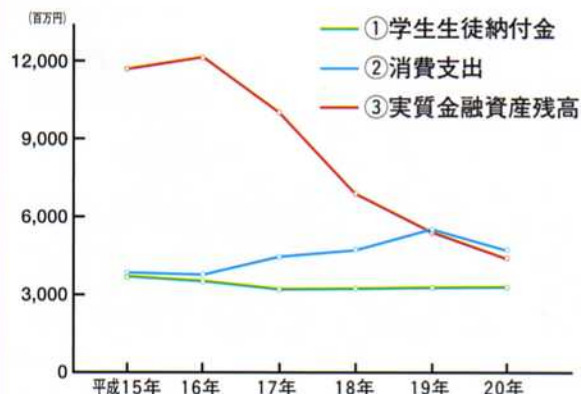
えたのに、人件費や教育研究費など②消費支出の伸びを低く抑えているのは、収入が減額した事に連動して、経営努力がなされたからだと思います。

母校の資金状況ですが、③実質金融資産残高の推移をみると15年には116億7900万円が、20年には43億8100万円まで減少しております。これは、新学部・学科設立の用地取得や新校舎建設、機器購入などの費用支出のために取り崩したことが原因です。

4年後に、新学部と学科で全学年が揃えば、黒字に転じて再び③が増加することが見込まれているようです。ちなみに、借入はありませんので、③が現在の水準を維持できれば、今すぐに経営危機云々の事態に陥ることはないとは私は見えています。加えて、一部の大学で行われているような、危険な金融商品の取引は一切行われておりません。

最後に、最近では学生の新規募集を停止して廃校を決定する大学まで出てきて、今後、私学においては買収や合併、提携、統廃合などの動きが強まるのではと予想されます。

母校の運営母体である獨協学園は、従前より、実質的に各学校の自主運営と独立採算で成り立っており、学園内の各学校が資金面で助け合える制度になっておりません。ですから、母校の運営に関しては奥村新学長を中心として、教職員の皆様が一丸となって難局にあたれるように、同窓会も陰ながらお手伝い出来ればと考えております。



④在学者数の推移

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
在学者	3,757	3,582	3,287	3,182	3,046	2,894
定員	3,570	3,570	3,580	3,790	3,990	4,000
充足率	105%	100%	92%	84%	76%	72%

⑤教職員数の推移

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
専任教員	127	138	146	194	212	206
専任職員	81	83	86	89	87	77



姫路獨協大学をご卒業の皆様、本年8月1日付けで学長に就任いたしましたので、就任のご挨拶を申し上げます。

折しも、世界的不況に見舞われておりますが、卒業生の皆様には各方面でご活躍のことと推察致しております。

本学も1987年の創立から22年を経て、播磨における唯一の文理総合大学としての地位を築いてきました。これも卒業生の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。しかし、少子高齢社会の成熟と不況のため、本学は多くの課題を抱えているのが現状です。この現状を打開するのは教職員個々の「和と責任」が必要であり、このキーワードを問題解決の基本にしたいと考えています。

本来、本学は地域の方々の支援によって設立された大学であり、地域に融合して地域に貢献することを課された大学です。教職員、学生は地域に役立つ取り組みが求められています。米国のような地方分権は難しいにしても、道州制が話題になる昨今であり、地方を活性化することが日本を活性化する道だとの意見には大いに賛成したいところです。私は播磨の地に融和し、播磨の活性化

に協力し、播磨の方々の評価が得られる大学を目指したいと思っています。そのための夢ある長期計画を教育面、経営面で立案する必要があります。卒業生の皆様のご意見も是非参考にさせて頂きたいと考えておりますので、多方面からご意見をお願い致します。

皆様のご協力を得て、学生確保、学生のケアなど課題を一つ一つ解決していきたいと考えておりますのでよろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

略歴：昭和40年 3月 京都大学薬学部卒業
 昭和44年10月 京都大学薬学部 助手
 昭和49年 8月 広島大学医学部薬学科 助教授
 昭和57年12月 京都大学医学部附属病院 助教授副薬剤部長
 昭和63年 6月 神戸大学医学部附属病院 教授薬剤部長
 平成18年 4月 姫路獨協大学 教授、薬学部創設準備委員長
 平成19年 4月 姫路獨協大学 教授、薬学部長
 専門分野：薬物の体内動態の解析と投与法の開発
 役職等：厚生省中央薬事審議会委員、厚生省医療技術参与、文部省大学設置・学校法人審議会専門委員、日本病院薬剤師会副会長、兵庫県病院薬剤師会会長など歴任

大学院 言語教育研究科が、門戸を広げました！

姫路獨協大学大学院言語教育研究科では、多くの社会人の方々にとって学びやすい環境を整えるための改革を行いました。是非、この機会に沢山の方が本研究科で研究され、ご自分の目標を達成されますようご案内いたします。



●取組について

- 修士論文に代わる課題研究のコースを設けました。
- 駅前サテライトでの授業も可能です。
- 入学時期を年2回(4月・9月)にします。(2010年度予定)

●これまでの取組

- 昼夜開講制です。
- 研究科に設置している各コースの講義科目の中から幅広く選択履修が可能です。
- 社会人入試(選考は書類選考と口頭試問または面接)を実施しています。
- 各自の履修計画が立てやすいように最長6年間在籍できます。なお、授業料の総額は入学時に単位制による納付を選択すれば2年間で修了する場合とほぼ同額です。

●社会人入試日程

入試区分	試験日	選抜方法
秋季募集	10月3日(土)	書類選考及び 口頭試問または面接
春季募集	2月13日(土)	

●募集コース等

研究科・専攻名	コース名	募集人数	取得学位
言語教育研究科 言語教育専攻	ドイツ語コース	15名	修士(言語教育)
	英語コース		
	中国語コース		
	日本語コース		

●大学院入試説明会

- 2009年 8月22日(土) 駅前サテライト 11:00~12:30
 - 2009年12月19日(土) 本学 13:00~14:30
- 指導教授が説明いたします。ご自由にご参加ください。

●問い合わせ先

姫路獨協大学大学院課
 TEL. 079-223-9159
 FAX. 079-223-6624
 E-mail minagase@himeji-du.ac.jp

各界で活躍！ HDU同窓生

出産後に資格を取得して看護師に

大儀律子さん〈旧姓・川原〉(ドイツ語学科/平成3年卒)

一期生の卒業なので、もうずいぶんと経ちますが、その時は、まさか私が看護師になるなんて、想像もしていませんでした。

平成7年の阪神大震災で、実家は全壊。瓦礫の中から聞こえる「助けて〜」の音が、だんだん弱々しくなっていくのを間近で体験し、自分の非力さに、悔しさがこみ上げてきました。だから、我が子が小学校に入学したら「何か世間の役に立つことをしよう」と決心したのです。

看護師になって7年経ちました。現在、大阪の某病院の外科病棟に勤務しています。主に、消化器(胃・大腸・脾・肝臓・胆嚢)の受け入れをしており、日々忙しくしています。また術後の化学療法(抗がん剤)の投与も積極的に行っています。

この病院に来て、電子カルテ導入をしていることや、外科勤務ということで、展開の早い看護の仕事の動きについていくことが出来ず、

当初はかなり大変でしたが、やっと、自分のスタイル、看護観が見えてきました。

他の方よりだいぶ回り道(結婚、出産後に資格取得)をしましたが、この大学で学んだこと、そして、たくさんの人に巡り会えたことは、私自身の財産になっています。

勤務する病院に緩和病棟がないため、術後の全身化学療法や終末期医療も担っている関係で、「その人らしく最後を迎えるにはどうあるべきか?」ということを常に考えます。周囲の人すべてが納得できる看護、生き方を目指して、これからも頑張っていきたいと思っています。

でも最近、目がキテいます。老眼です、これは。体の節々も痛いんです。これ、老化?だよ。



剣道を続けてきて感じたこと



大橋卓也さん(法律学科/平成3年卒)

私は小学校2年生から剣道を習い始め、会社に入ってから剣道部に入り、40歳になった今も続けています。

一つの事を続ける事は非常に難しい事ですが、自分がその事に対して好きになり、何事にも逃げずに目標をもってすれば、おのずと道が開けてくるという事を、32年間剣道を続けてきて学べたと思います。

今の会社に就職したのも、きっかけは剣道を大学まで続けていたので、地元の剣道が出来る環境のあるグローリー工業株式会社(現

グローリー株式会社)に入社させて頂き、現在、仕事と剣道を頑張っています。剣道を続けてきたことで、仕事以外でもいろいろな人との出会いがあり、繋がりがたくさん出来たと思います。

今後は、後輩の指導及び少年少女剣士の育成に、力を入れていきたいと思っています。特に地元の子供の指導には力を入れ、将来有る子供たちに剣道の魅力を伝えられればと思っています。

そのためには、私自身の技量向上はもちろんの事、剣道以外でも子供たちのお手本になれるよう、社会人として恥ずかしくない行動をしていきたいと思っています。

最後に、一日でも長く続けられるよう、健康管理に気を付けていきたいと思っています。

(大橋さんは現在、同社購買調達グループ アシスタントマネージャー)

野球ができる環境に感謝

竹田大作さん(経済情報学科/平成12年卒)

私は2000年にグローリー株式会社に入社し、今年で10年目を迎えています。入社と同時に野球部に所属し現在も現役で活動しています。部員は約20名おり、その内姫路獨協大学卒業生が4名在籍しております。

野球部は、月・水・金・土曜日に練習があり、チーム目標である「日本一」を達成すべく日々励んでいます。野球部だからと特別扱いはなく、選手全員が通常業務終了後または残業終了後に練習を行っています。仕事と野球の両立は肉体的にも精神的にもしんどい時も

ありますが、試合で勝利した時の喜びはその辛さを忘れさせてくれますし、職場の上司や同僚から「おめでとう」「次も頑張れ」といった声を掛けて頂いた時は、また頑張ろうと意欲が湧いてきます。好きな野球が社会人になっても出来ている事を幸せに感じ、誇りに思います。

チームの実績としては、軟式野球最高峰である天皇賜杯に3度出場し、ベスト4が1回、ベスト8が2回、国体出場1回という成績を収めています。個人的には、2006年に開催されたのじぎく兵庫国体に兵庫選抜チームで出場し、日本一を達成。県内では都市対抗3連覇を含む6度の優勝等、多くの優勝を収める事が出来ました。しかし、まだまだ安定した力はなく、全国の常連の域には達していません。またチーム内にも若手が増えてきた事もあり、ベテランと若手とが上手く噛み合い、チーム力を向上させる事が課題であり、私の役目だと思っています。

今後もチームの信条である「常に野球をさせてもらっている環境に感謝する事。野球を通じて社会人としての礼儀、仲間への思いやりを身に付けそれを仕事で生かせるように心掛ける事。」を実践し、残りの現役生活を完全燃焼させたいと思っています。

同窓生の皆様にも球場へ足を運んで頂ければ幸いです。



左から、小林誠(H19卒・法学部)、竹田大作(H12卒・経済情報学部)、白井貴(H16卒・経済情報学部)、森川卓哉(H13卒・法学部)

グローリー株式会社

所在地：姫路市下手野1丁目3番1号 ☎079-297-3131

事業内容：通貨処理機、情報処理機、自動販売機、カードシステム・サービス機器などの開発・製造・販売・メンテナンス

